

府中かんきょう 市民の会

2002年 夏号
7月10日発行／季刊
発行人：横山永望
連絡先：府中市浅間町4-18-12
TEL & FAX：042-362-2684



レンゲまつりで賑わった
府中市押立のたんぼ
(4月28日／撮影 館浩道)

レンゲまつり

野 口 道 夫

(レンゲまつり実行委員長／会員)

まつりの当日は朝から快晴！

レンゲの花もまずまずで、耳を澄ますとブーンと唸りが聞こえます。花を訪れる蜜蜂です。

今年は養蜂研究家の矢島さんのご協力で、蜂蜜教室が実現しました。蜂蜜搾り器のまわりに人だかりができ、タンクの下から流れ出る黄金色の蜂蜜を子どもたちが真剣に見つめているのが印象的でした。

わらぞうりづくりもはじめての試みでした。参加者が飽きてしまうのではとちょっと心配でしたが、自分で作ったぞうりをはいて帰った子もいたそうです。

レンゲの花摘みをしたり、竹トンゴをつくったり、草笛を吹いたり、ネイチャーゲームに参加したり、うらかな春の一日を存分に楽しんだ家族も多かったようです。

スタッフが市内のレンゲ田を訪ねて作ったオリジナルのレンゲマップも好評で、写真入りの記事が新聞に掲載されました。

また、今回ははたるの里・三鷹村や、くにたち郷土文化館など市外の方々との交流もあり、それぞれ用水路や公園をめぐる見学会を実施しました。

さて、私たちスタッフはこの日のために、昨秋から半年にわたって準備をすすめてきました。夜間の会議で企画案を練り、レンゲ田の除草や市内のたんぼへの看板設置に汗を流してきました。

同時に、会場をご提供いただいた戸塚さんをはじめ農家の方々のご支援と関係者のご協力があったはじめて、このすばらしい催しが開催できたのだと思います。

レンゲまつりは多くの方々に楽しんでいただける春のイベントとして、ようやく市民の間に定着しようとしています。

私たちが始めたこの小さな取り組みが、都市のみどりや農業について考えるきっかけになればと願っています。



童心に帰って楽しい半日だった。
れんげ田がもう少し広いとよかった。
なるべくれんげ田を残したいですね。



藁草履コーナー

本当に面白かった。
片方しか出来なかったので来年もう片方を
作ります。
懐かしいですね、60年前に作りました。

草笛コーナー

タンポポで笛が鳴り嬉しかった。
カラスノエンドウの笛はとても難しかった。
パパやママより上手に吹けた。
タンポポの茎が鳴るのを初めて知った。

れんげ田に 子ども達の

ネイチャーゲームコーナー

こんな遊びがあるなんて初めて知りました。
やってみたら面白かった。

農業への理解が深まるレンゲ

私の田にレンゲを植えているのは、緑肥として利用するためです。レンゲの緑肥はイネが育ちすぎるほど効き目があります。レンゲは数年前から植えています。花の時期になると、周りの人々からとても愛されています。みなさんが、私の田んぼで「レンゲまつり」をされることも、特別、環境問題ということ以前に、私たちの農業への理解が深まるという点でいいことだと思っています。

今年はレンゲの種が出来上がるまで、そのままにしておいてから水田にしました。レンゲの種は水田の中かで、発芽の環境が整うまで眠りますから、秋にはたくさん芽をだしてくれるでしょう。
(戸塚勇／白糸台3丁目在住)



竹トンボコーナー
削るのはたいへんだらうたけど教えてもらってチャレンジできた。子どものためより自分が夢中になっちゃった。



花飾りコーナー
初めて作ったけど楽しかった。綺麗に出来て嬉しい。もっと花がたくさん咲いているといい。

こぼれる 笑顔

忘れられないレンゲソウの思い出

子どもの頃のれんげそうの思い出は、忘れることができません。戦争疎開のあと大阪で過ごした小学生の頃、淀川の河川敷にれんげそうがいっぱい咲く所がありました。春になりますと近所の友達と花輪を作ったり、手にいっぱい花を摘んで帰りました。歩いて1時間の遠さも苦にならなかったのです。家に帰り、水を入れた洗面器の中に、しおれたれんげそうを入れるとパッと水面がピンク色。何ともいえないしあわせな気持ちでした。

結婚して京王沿線に住むようになりましたが、子どもたちにれんげそうを見せようとあちこち歩きましたが、開発でなくなってしまいましたね。この度の府中のれんげマップ、とても美しく、わかりやすいものを作ってくださいありがとうございます。ゆっくり歩いてれんげそうに出会ってまいります。
(松田悦子/多摩市馬引沢在住)



蜂蜜絞りに群がる子ども達

蜂蜜コーナー
純粹蜂蜜はこってりして美味しい。本当の蜂蜜をなめた。蜂蜜の採り方がわかった。来年もやってください。



会員は草取り(右)や看板立て(左)などに汗を流した



スタートした 公園清掃活動

府中かんきょう市民の会は、今までにも行政側からの要請(市民公募など)のあった「環境基本条例」や「環境基本計画」について数多くの会員が参加し、計画立案や素案づくりに積極的にかかわってきました。

特に「環境基本計画」のなかでは“水と緑のゆたかなまちづくり”を大きなテーマとしていろいろな施策を提案しており、“市民参加による公園づくり”もその一つです。

市民の会としても提案ばかりでなく、公園の維持管理に少しでもかかわる機会がないか模索していたところ、2月に市が公園管理について管理団体の募集を行いました。市では本来、地域のコミュニティーの場として自治会などを中心に委託してきましたが、市民の会にも委託可能ということでした。早速、会の総会に図るとともに、引き受け可能な公園をリストアップし現地調査も踏まえ、4カ所の公園を市側と正式な委託契約を結び、4月より清掃、除草、点検などの作業をはじめたものです。

清掃用具の手配から日程の調整、会員連絡などの準備におわれましたが、公園ごとに責任者と清掃担当者を配置するなどして無事スタート、3カ月が過ぎました。

清掃の手はずなどについて知恵も出し合い、気持ちのよい公園にしていきたいと思えます。皆様のご協力をぜひお願いいたします。(竹内章)



押 立町緑地の樹木は、落葉樹あり、針葉樹あり高い木・低い木と変化に富んでおり、中央の築山にはクロマツなどつつじ、周囲にコナラ・ムクノキ・ハナミズキなどが計画的に植樹されている。西側にはサンプル園を配置、樹木には名札が掛けてあり、実を付けるムクノキなどの楽しみを発見した。気温18度、薄日、体を動かして気持ちの良い日で、1時間余りの草取りを楽しんだ。しかし、築山を東西南北に走る抜け道は、遊び場として駆け回るには、格好の落差を提供してくれているが、中央にあるクロマツの数は根元が現れて相当に病んでいる。動きの取れないクロマツ君は、じっと我慢しているようにも思えた。清掃の成果…取った草(20L袋22個、45L袋2個)。看板引起し。(田上昌宣)



会員による清掃活動(いづれも押立町緑地)

晴 天の日曜。昼間、あんなに長いこと公園にいたのは子育ての時期を離れてからはかなり久しい。公園を通り過ぎる人を横目に、無心に草に向かうと忙しい日常からどんどん遠ざかっていくように感じます。当たり前のことですが、草の種類が違うように、それぞれの根この張り方にもずいぶん違いがあります。「これは強い!!!」と指先に力を入れるたびに自然を感じる自分がやけに新鮮で、つい笑ってしまいます。府中の町に高速道路がなかった頃、南武線の南側は田圃ばかりで、私たち子供の格好の遊び場でした。レンゲの花飾り、用水で水遊び、数珠玉の糸通し、お手玉作り…。季節ごとの遊びは遠い昔のことです。府中の自然がどんどんなくなっていきました。当日の公園は山桜がとともきれいに咲いていました。次回はどんな花が咲いているのか楽しみです。(坂倉典子/本町1丁目)

受託した公園	所在地	面積(平米)
1 かわごえどう公園	武蔵台2-29	234
2 栄町中央公園	栄町1-1	539
3 分梅橋公園	分梅町4-4	849
4 押立町緑地	押立町1-34	2056

用水路の活用で 水辺の風景、親水空間を創出しよう

●用水路は市民の共有財産

市内南部の田んぼもすっかり青田になり、原風景に安らぎを覚えます。かつて府中は都下有数の水田耕作が盛んなところでした。ハケ湧水と多摩川取水による灌漑・生活用水の機能を果たしてきた用水路も長い歴史を刻みながら、いま存亡の危機にさらされています。暮らして水をめぐる先人の苦闘の足跡「用水路」は市内延長160kmに及んでいます。

水田維持の村落社会から都市社会に替わっても水路廃絶は時代の流れと簡単に切り捨てることはできません。歴史的また生活環境からも市民の貴重な水資源空間です。親水空間として再生・復活することは今日的課題です。

週5日制の学校では、子供の生きる力を育む総合学習の時間が設けられました。文部科学省と農水省は週5日制に対応して用水路の開放・活用を提案しています。都会の子ども達に魚釣り、水遊びや自然とのふれあいを体験させようと各教育委員会に示達しています。

●環境水路化は時代の要請

折しも府中において、公募委員による環境基本計画(案)づくりが進められています。府中の特性“用水路”を生かすため、季節用水(灌漑期だけ)にとどめず、環境水路として年間通水する計画案を盛り込んでいます。40年代頃、この用水は宅地化の急増で下・排水化し、迷惑施設として暗渠(地下水路)にされた経緯もあります。

時が移り本年4月、用水路・里道(法定外公共物)が国から市に無償譲渡(分権推進法)されました。これを契機に「法定外公共物」を有効活用するため、行政だけでなく市民との協働が求められています。実地調査や市民討論のプロセスが不可欠です。昨年、府中市は管理条例を制定し、併せて職員による「親水路整備検討プロジェクトチーム」を発足、今年3月に市長に提案されました。

いっぽう東京農工大学でも農地の多面的機能の一つとして、都市の水辺再生に着目し、地元府中で「多摩川に接続する用水路の魚類生息調査」(とうきゅう環境浄化財団助成)を開始しました。この調査には「府中かんきょう市民の会」も共同メンバーとして参加しています。

●南白糸台小のピオトープめざす取組み

先日、訪問した市立南白糸台小学校では全校あげて総合学習の課題として学校ピオトープづくり(ハケ下せせらぎ公園)を提案しています。すでに校内に多摩川の淡水魚水族館を設置するなど意欲的な環境学習を進めています。

今や水辺再生のまちづくり、それに連なる地域に開かれた学校づくりの機運は熟しつつあります。行政はもちろんのこと市民の”市民力”も試されています。(進藤礼治郎)

さくらと自然の観察会 日立中研で実施

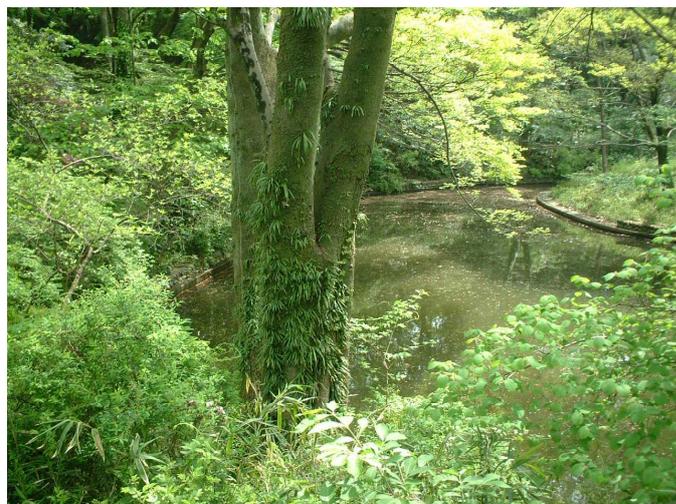
JR国分寺駅と西国分寺駅間の線路沿いに、うっそうとした森に囲まれた日立中央研究所があります。私はよくその付近を散歩するのですが、この森の中にはどんな景観が広がっているのか一度見てみたいと思っておりました。

過日毎年春秋一日だけこの研究所の庭園が一般公開されると聞き、昨年11月18日の開放日に興味深々ここを訪れたのです。

先ず驚いたのはその敷地の広さです。東京ドームの5倍、約7万坪の庭園には、大橋あり、溪谷あり、自然林あり、大池あり、大白鳥ほか水鳥の群れありで、まさに武蔵野の森に迷い込んだという感じであり敷地内数カ所からの湧水は多摩川まで注ぐ野川の源泉だと知らされ、なおさら感激しました。

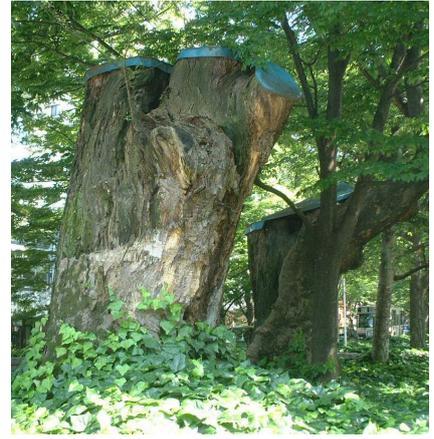
会社がこの武蔵野の自然を今なほそのままの形で保存する努力を続けていると聞き、日本を代表する企業の姿勢に感心しました。

この庭園を廻るうちに、庭内の3万本近くある樹林をゆっくり見るのも興味深しい、春の桜の時期に花見を兼ねて樹木の勉強をするのもおもしろいし、この武蔵



野の面影をもっと多くの人に紹介もしたいし、と考えているうちに、春の開放日(4月14日)に会員の方々を誘って花見と自然観察会をしてみようと企画したわけです。秋の開放日もまた違った静かな風情があります。(羽尻 元彦)

けやき並木の現状と 保全の方向



老木対策も緊急課題だ

府中といえば“けやき並木”という程、有名で、府中市の「緑の基本計画」では、けやき並木と大国魂神社はシンボルゾーンとして位置づけられている。けやき並木が出来てから、今年で940年という長い歴史があり、府中のまちと共に連綿と今日に至っている。

1924年に国指定天然記念物に、2001年3月には東京都が景観条例に基づき、歴史的景観保全の指針を制定、都内全域から「景観上重要な歴史的建造物等」を11カ所選定したが、それに「大国魂神社本殿及び馬場大門のケヤキ並木」が選ばれた。このように都は景観上かけがえのないケヤキ並木を将来にわたって残すため、保全すべき対象に指定した。

けやき並木は、単に保全するだけでなく、市民のいこい広場としても積極的に活用してゆきたい。この“けやき並木”の所有者や管理の現状は次のようになっている。

●土地等の所有関係と管理について

国指定の天然記念物である、けやき並木は文化財であるため文化庁や文化財専門委員会の承認がないと勝手に手入れすることもできず、手続き的にも複雑である。

けやき並木の所有、管理者	→ 大国魂神社
けやき並木の一部管理者	→ 府中市
並木沿い歩道の所有者	→ 大国魂神社
並木沿い歩道の管理者	→ 府中市
並木沿い車道所有・管理者	→ 東京都



●並木の管理

①台風・害虫・公害などによる倒木・枯木対策については、大国魂神社と府中市文化財専門委員会が協議し管理。費用負担…大国魂神社

②整枝・剪定、伐採、補植など樹木の保安全管理。大国魂神社が府中市文化財専門委員会と協議し実施。費用負担…大国魂神社

③灌水、除草などの維持管理。府中市がシルバー人材センターに業務委託。費用負担…府中市

●府中市役所の管理体制

①文化財けやき並木…生涯学習部社会教育課事業係

②並木(石囲い部分)の灌水・除草…生涯学習部社会教育課事業係

③歩道部分の整備管理…都市建設部土木課第一管理係

④歴史的景観の保全…都市建設部計画課

●課題

①管理責任…大国魂神社、府中市、文化財専門委員会、東京都、文化庁にわたり主たる管理者が不明確。

②市役所内の管理部門…並木は文化財であり、本来は社会教育課であるが、環境安全部緑のまちづくり推進課がふさわしい。

③自動車交通による根への圧迫・振動、排ガスの影響

④周辺ビルによる並木への風害対策

⑤並木樹種の純化。イヌシデ、トウカエデなどケヤキ以外の10種66本(全体の3分の1に相当)の混植改善

●対策

①樹木医による定期診断・治療の実施

②老木が多く腐朽により枝折れ・倒伏、害虫・台風・落雷・公害等による枯木・倒木等、減少分補植

③自動車規制…終局は全面規制、当面は時間規制

④景観保全のため放置自転車と駐輪場対策

⑤管理主体を大国魂神社および府中市とすることなど専門家を含めた「けやき並木保存協議会」の設置が必要
(高崎利夫)

我が家の屋根に 太陽光パネルを架せて4年

電気代の7割は太陽光でまかなう

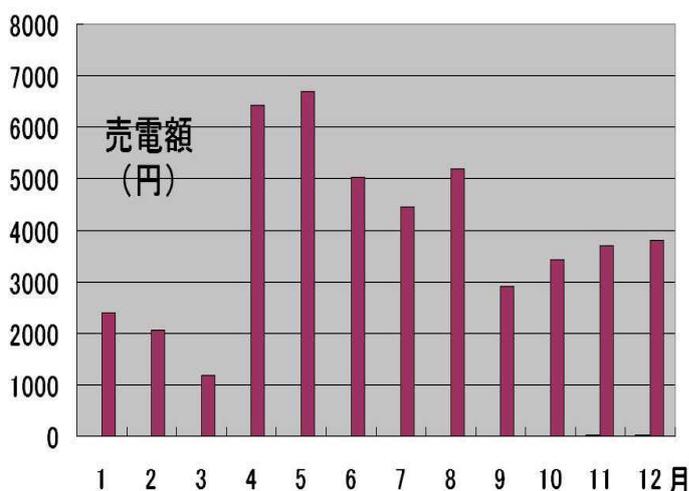
前号の会報(6頁)に、我が家の屋根に設置した太陽光小発電所が紹介されました。

太陽光発電設備を取り付けたのは1998年4月ですから4年が経ちました。

この4年間の平均の売電実績は月平均で3319円(最高月6706円/最低月512円)です。

2001年3月までは東電の通常の電気料金制度を利用していましたので、支払い電気料金に占める売電額割合は23%と相対的に低かったのですが、2001年4月より夜間10時以降翌朝8時までの割引制度(ナイト10割引…夜間の電気料は6円/kWにたいし昼間は80kW迄23.75円/kW、81~200kW迄31.55円/kWなど)を利用した結果、我が家の支払い電気料金は激減し、売電額割合は66%となり、我が家の電気代の7割近くを太陽光パネルが稼いでくれている計算になります。

月別売電額の推移(2001年)



差額負担電気料平均(月額)	期 間	支払電気料に占める売電額率
通常料金制度 8725円	2000/4~2001/3	22.6%
ナイト10制度 2292円	2001/4~2002/3	66.4%

ナイト10割引を効果的に活用するため洗濯機、乾燥機、電子レンジ、アイロンがけなど消費電力の大きい器具の使用は極力夜間の時間内にするよう心掛けています。

なおナイト10割引を利用するにあたり家電リサイクル法施行の直前(2001年3月)に、旧型冷蔵庫3台を廃棄し、省電力冷蔵庫1台にしています。

さて我が家の太陽光発電設備は松下電器製(最大発電量2.7kw)ですが、パネルと架台の重量の比較並びに小発電所の設置費用は次の通りです。

太陽光発電設備設置費用の総額は357万円でした。これにたいし一般的な援助は東電の100万円がありましたが、我が家は生活クラブ生協会員のため生活クラブ生協の援助(150万円)を受けた結果、家計負担額は207万円となりました。自治体なり国の積極的な援助があればと思います。

なお生活クラブ生協の別組織クリーンエネルギー普及調査会から、月額1万円のモニター料として2年間限定で24万円の支援を受けました。

経済発展にともなう生活文化の向上に従って、電気やガスなどの消費は拡大し、化石燃料の消費は増大せざるを得ません。

そうするとCO₂(二酸化炭素)・NO_x(窒素酸化物)・SO_x(硫黄酸化物)等の有害化合物の発生が一層増し、地球環境の悪化や温暖化は予想以上の速度で早まるでしょう。

予測されるそのような危険に対して、一個人が高額の出費をして自宅に小発電設備を設置したところで、大した影響もないと言う考え方もあるでしょうが、もし日本の家の半数の屋根に小発電設備を設置したならば、原子力発電所は不要になるかもしれません。

地球温暖化で近い将来東京23区の大半が水没すると言う噂さえある現在、影響のあるなしとか損得でなく、精一杯少々の無理をしても行動して環境にプラスしていきたいと思っています。

(足立和巳/栄町)

メーカー	パネル	架台	総重量
ナショナル	1枚7.5Kg×36枚=270Kg	100Kg	370Kg
サンヨー	1枚15Kg×25枚=375Kg	125Kg	500Kg
シャープ	1枚12.5Kg×24枚=300Kg	60Kg	360Kg





はるかな国 ブラジルの昔といま

1500年初頭、大航海時代に入ってポルトガル人がブラジル沿岸に進出し、高級家具材の原木であるパウ・ブラジルの貯蔵・積み出しを目的とする武装基地を作りました。基地周辺には原住民インディオとポルトガル人との混血マメルューコが増えてゆきます。

16世紀の半ば、ブラジル各地にサトウキビ栽培が広がり、それに応じてインディオの奴隷化も広がります。

ポルトガル王室は、アンゴラ(アフリカ)などから奴隷の輸入を奨励します。当時、男性奴隷は1人13ポンド(今日の円換算で約40万円)ほどで売り買いされたようです。

金鉱の開発、アマゾンのゴム園などブラジルの資源は略奪され、同時に大土地所有制と奴隷の増加が進行します。

19世紀に入り、ポルトガル王室直系のペトロ一世が、ブラジルの独立を宣言し憲法制定に至ります。

1888年、ようやくにして皇女イザベルが奴隷解放令を公布します。

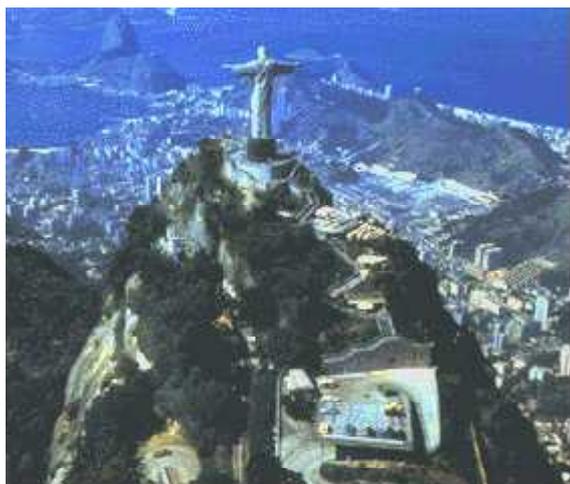
1945年、ドウトラ将軍が大統領に就任。三権分立の新憲法…大統領・州議会・知事・市長の直接公選…を公布、近代国家のかたちを整えます。



マナウスの貧民街 Hanafusa氏のホームページより
(<http://www.mws.ne.jp/~hana12/>)

いっぽう、アマゾンの大土地所有制は今もゆるぎません。土地のない数百万の人々と、私兵を雇い大農園制度を死守しようとする一部の大地主階級の存在と、それを改革しようとする労働組合などNGOとのたたかいも熾烈をきわめています。

イグワスの滝、リオの白い砂浜、コルコバードの丘、アマゾン経済の中心地マナウス、日本人も根付いているサンパウロ…遠い国、ブラジル各地を旅しながら、この国の過去とそれにつながる現在に思いを馳せてみました。(鈴木美生)



コルコバードの丘

リオ郊外の小高い丘は、麓から丘の頂きまで、すきまなく掘っ建小屋が密集しています。地元でファベアラと呼ばれているところです。

奴隷解放で自由を得た人々が大都市周辺で現代を生き抜くところです。これらの人々には自分の土地というものがありません。水や電気といった生活するうえでの基本的な供給はどうなっているのか、医療、教育などととも気がかりでした。

府中市内の環境問題と取り組んでいます

府中かんきょう 市民の会



- 市内各所のウォッチングで環境チェック
- 「レンゲまつり」など環境復元活動も
- 先進の取り組みを見学／講座開催など随時
- 市政への提案活動…市環境基本計画など

例会：毎月第2水曜、18時から「グリーンプラザ」7Fで
会費：年1500円／代表：横山永望
連絡先：府中市浅間町4-18-12



古紙配給率100%再生紙を使用しています